

I. 震災復興

施策部門	部門別プロジェクト	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
1 生活基盤	1 恒久的な住まいの確保	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災復興分野の全体的な点で、成果指標の基準値及び現況値は「H27」であるのか。 震災復興分野の全体的な点で、現状と課題の熊本地震に関する文章は、統一した文言で記載してほしい。【関係部署に指示すること】 現状と課題で「仮設住宅等は法により2年間の入居期間」となっているが、高齢者の方が退去後に住宅を建設出来ない場合、その後はどうなるのか。 プロジェクトの基本方針で、箇条書きになっている箇所は文章にしてほしい。また、その中の「二 小さな拠点づくりの推進など」とあるが、市民の方に理解できるか、具体的に分かりやすい表現に変えてほしい。
	2 被災住宅の再建支援	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本方針内で、「平成56年5月31日」とあるが「昭和56年5月31日」に修正。 成果指標の「申請件数」で目標値が「10,000世帯」とあるが、ざっくりとした数値だがどのように推計したのか。（100世帯単位で記載しては）
	3 ライフライン（上下水道）の復旧	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの基本方針で、8行目の「休止している取水施設等の活用」とあるが具体的な施設はあるのか。 部門別プロジェクトでは、「ライフライン（上下水道）の復旧」としているが、指標は長年やってきた更新率を取っている。現在、壊れているところを復旧する指標が挙がってくるのではないのか。 <p>(回答)</p>
	4 公共土木施設の早期復旧	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの基本方針で「総合治水計画を構築」とあるが、これは地震関係だけでなく、水害も含めた計画と認識してよいか。 成果指標の「熊本地震による被災箇所」が「2事業」とあるが、他にないのか。数値を確認してほしい。
2 社会基盤	1 地域支え合いセンターによる生活再建支援	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設住宅の自治会は組織化されているのか。 成果指標で「被災者の仮設住宅生活からの自立率」がH32には「100%」となっているが、仮設住宅は2年間ならH30に100%になるべきではないか。ただし、2年間で100%は無理とは思う。
	2 学校施設の災害復旧	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状と課題で、熊本地震の記載内容については、各部門・各プロジェクトともに共通した文章にして、関係部署に指示してほしい。 成果指標の現況値は「H28」となっており、現況値を入れるなら統一してほしい。
	3 指定文化財の災害復旧	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の災害復旧に国の補助金はあるのか。 現状と課題で、「市指定文化財「下鶴橋」のように橋が全壊し、復旧が困難になった文化財」とあり、プロジェクトの基本計画では「流出した石材を可能な限り改修して保存活用する」と記載してあるが、一部を保存するだけということなのか。
3 産業基盤	1 農業経営体の再建支援	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状と課題で1行目から5行目の熊本地震についての記載は不要では。
	2 中小企業等の再建支援	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標で、「復旧整備事業の完了率」はこれでいいのか。（構成員）の数値は必要か検討してほしい。

II. 教育文化

施策部門	部門別プロジェクト	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
学校教育	1 確かな学力を育成する教育の推進	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度から小学校、平成33年度から中学校の学習指導要領が変わる。このことも追記したほうが望ましい。一番最後の行にこのような表現ではどうか『さらに小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から全面实施が予定されている新しい学習指導要領への対応も計画的に進めていく必要があります。』 ・豊野小中における一貫教育での成果を現状に記載してほしい。 <p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1行目「普及により」→「普及や」 ・1行目「外国人観光客が増加し」→「外国人観光客の増加など」 ・3行目「知識社会」→「知識基盤社会」 ・6行目「基礎・基本を徹底し、」→「基礎・基本を徹底し、主体的・対話的で深い学び、いわゆるアクティブラーニングの手法を取り入れ、」とつないだらどうか。 ・8行目「学ぶ意欲・思考力・判断力・表現力」→「学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等」 <p>【主な成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査は国の事業なので政権に左右されるため、今後も実施されるか不明。→ 変わったときはその時に修正して対応してもいいのでは。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p>＜1＞基礎学力の定着を図る教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2行目「また、活動教育課程の編成や指導方法の工夫改善、コンピューター画面上の」→「また、ユニバーサルデザインの視点からの授業づくりやコンピューター画面上の」 ・3行目「プロジェクター」や「電子黒板」の「」をトル。「プロジェクター」や「電子黒板」→「プロジェクター・電子黒板」に変更。 <p>＜2＞社会の変化に対応した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5行目「情報モラル教育に取り組みます。」→「情報モラル教育にも取り組みます。」
	2 障がいのある児童生徒の教育の推進	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9行目「学習上の困難を改善・克服するための支援」→「学習上の困難を改善するための支援」 <p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インクルーシブ教育」の用語説明において、国が進めるのは通常学級だけではなく支援学級も含むため取り組みの表記へ変更を。文科省の定義を参考に。 <p>【主な成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員には通常学級と特別支援学級に配置と2種類あるため合わせた指標で。前段でインクルーシブ教育を記載しているため両方を盛り込むべきではないか。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p>＜1＞支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5行目「また、特別支援教育支援員について、」→「また、特別支援教育支援員や学習支援員について、」 <p>＜2＞教員の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3行目「特別支援教育研修や地区別連携協議会や」→「特別支援教育に関する研修を充実させるとともに、地区別連携協議会や」 ・4行目「インクルーシブ教育の構築」→「インクルーシブ教育システムの構築」or「インクルーシブ教育の推進」
	3 豊かな心と体を育成する教育の推進	<p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8行目「学校の教育活動を通じて行う保健教育の充実により」を全部トル。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p>＜1＞豊かな心を育成する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1行目「「他人を思いやる心」、「生命を大切に作る心」、「自立心や責任感」などの豊かな心は、」→「生命を大切に作る心や自尊感情、他人を思いやる心、自立心や責任感などの豊かな心は、」 ・3行目「あいさつ運動や～身に付けることのできるよう」→「豊かな心を育むことのできるよう」 <p>＜2＞健やかな体の成長を促す教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2行目「平成31年度社会体育への移行に向けて」→「平成31年度からの社会体育へのスムーズな移行を支援するとともに」 ・2行目「地域の人材を～取り組みにより、」→「地域の人材の発掘・活用、社会体育施設の有効な活用等により、」 ・5行目からのデータ数値については「現状と課題」に記載すべき事項で、ここでは詳しく記載する必要はないのでは。 ・社会体育移行の後段に突如、歯科保健について記載があるため文章としてつながりが見えないため、＜3＞を新設して別立てて記載するなどの検討要。
	4 国際教育の充実と外国語教育の推進	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8行目「また、」はトル。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p>＜1＞国際社会に貢献できる人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英語力の向上など」→「国際理解と英語力の向上など」
	5 良好な教育環境の整備	<p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p>＜2＞学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5行目「コンピューター教室での～活用方法の実習など、」→「コンピューター教室の充実やICTの整備、学校図書館の充実など、」 ・6行目「習熟度に応じた個別学習できる」→「習熟度やニーズに応じた学習ができる」

	6 家庭や地域に開かれた学校づくりの推進	<p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3行目「地域人材が関わることで」→「地域人材が学校教育に関わることで」 ・ 8行目「地域活動を活性化させ」→「地域活動を協働することにより」 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p><1>開かれた学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2行目「地域市民」→「地域住民」
	7 豊かで安全・安心な学校給食の推進	<p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10行目「3センターを統合し」の表現については、各センター名を列挙。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p><2>学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記項目は「学校施設」とあるが、中身は新給食センターのことでは。単独校のことも含め検討要。 ・ 4行目「また、」の後に、「学校の単独調理場と連携し」などの表現を入れてみてはどうか。
2 青少年健全育成	1 青少年健全育成の推進	<p>【主な成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇城市全体の状況を測るため、事業が実施できる学校に限られている通学合宿を指標にするのはどうか。いくつかの事業の参加人数とかを検討してみては。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p><1>「地域教育力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館事業とは分けて事業の記載をしてみてもいい。
3 人権教育・啓発	1 人権教育の普及・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門別プロジェクト名「人権教育の普及と人権啓発の推進」→「人権教育の充実と啓発の推進」 <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊野コミセンでの事業の現状を追記。
4 生涯学習	1 生涯学習の充実	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12行目「生涯学習拠点施設」は一般にはわかりづらいため、具体例を記載してみたらイメージが付きやすい。たとえば「〇〇〇などの生涯学習拠点施設」。 <p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2行目「社会環境づくり」の前に説明表現の挿入を。 ・ 5行目「社会教育指導者」についても一般にはわかりづらいため、具体例を記載してみたらイメージが付きやすい。 <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「づくり」or「作り」、「一人ひとり」or「一人一人」の統一を。
	2 市民に親しまれる図書館づくり	<p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11行目「読書関連団体」とは。読み聞かせグループや私設図書館等、具体例を記載してみたらイメージが付きやすい。 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p><3>読書で進める生涯学習のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1行目「読書関連団体」とは。読み聞かせグループや私設図書館等、具体例を記載してみたらイメージが付きやすい。 ・ 2行目「～生みます。」→「出すよう努めます。」 <p>※基本計画では「努めます」は使わないように統一しているため、言い換えをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ブックスタート」の用語説明
5 文化・芸術活動	1 個性あふれる文化活動の推進	<p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3行目「施設の老朽化に伴い」→「施設の老朽化への対応については」 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p><2>文化の振興を図るための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5行目「情報通信技術」→具体例を示してわかりやすく表記を。
6 歴史・文化財	1 文化財の保存と活用	特になし
7 スポーツ・レクリエーション	1 生涯スポーツの推進と指導者の育成	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2行目「障害なく」をトル。 ・ 13行目「これからの指導者の育成と生涯スポーツの推進に～」→「これからの指導者の育成と市民の趣味やライフスタイルの変化、少子高齢化の進行など、ニュースポーツのニーズの多様化に対応した生涯スポーツの推進に～」 <p>【プロジェクトの基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10行目「～の育成は必要であり、」→「～の育成は不可欠であり」 <p>【プロジェクトの基本計画】</p> <p><3>地域スポーツクラブの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブとは総合型のことを指しているのか。総合型であれば、支部制などを設けて市内全域をカバーできるような組織となるように育成していくなどの表記がほしい。 <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「行います」の表記が多すぎるため校正を。 ・ 高齢者向けの健康福祉部が行っている事業との連携についても表記したほうがいいのでは。 ・ トップを目指す子どもたちへの支援についても検討してほしい。
	2 スポーツ施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【現状と課題】の10行目からと、【プロジェクトの基本方針】の9行目からの内容がほぼ同じなため、この記載は基本方針のみでいいのでは。 <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「行います」の表記が多すぎるため校正を。

Ⅲ. 生活環境

施策部門	部門別プロジェクト	数	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
1 消防・防災	1 広域消防の適正化と防災・消防体制の強化	1	(委員) ・自主防災組織との連携について記載してほしい。 ・基準値となっている条例定数が、H32でも同数となっているが、減らさない手段、方法はあるのか。 ・宇城市全体の総数だけではなく、地域ごとの数値も必要では。
2 交通安全	1 交通安全対策の強化	3	(委員) ・現状と課題で5行目に「関係団体」とあるが、具体的に「警察署・交通安全協会・交通指導員等」と記載しては。 ・高齢者には老人会や婦人会で啓発を行っているのか。福祉会でも啓発を行っている。
3 地域安全	1 防犯対策の強化	5	(委員) ・基本方針の3行目に「防犯カメラの設置」とあるが、防犯の抑止面でも設置数を増やしていくべきではないか。 ・成果指標で「人口当たり刑法犯罪認知件数」の件数が小数点第4位まで表示してあるが、そこまで小さく表示すべきか。また、指標が「100人当たり」としてあるのは分かりにくい。 ・防犯灯のLED化は8ヶ年で終わらせるのか。
4 治山・治水	1 治山・治水対策の充実	7	(委員) ・大雨洪水時に市内各地で排水が溢れた経緯があり、現状と課題の中に「排水対策」についても入れ込んでほしい。 ・成果指標において、急傾斜地崩壊対策箇所数で、宇城市管内の指定箇所を指標とした方が分かりやすいのでは。 ・基本計画の「治山事業の推進」の7行目に「河川の氾濫による被害を受ける区域から安全な区域に移転することを推進します。」とあるが、市内の現状を把握していないのであれば、この表現は市民に分かりにくく、記載しないほうが良いのでは。
5 環境保全活動	1 環境にやさしい循環社会の構築	9	(委員) ・現状と課題において、「地球温暖化の視点について」明確に記載してほしい。また、全体的に文章の表現等を修正し、宇城市の現状と課題を記載してほしい。 ・プロジェクトの基本方針についても、文章の表現等を修正してほしい。また、ゴミ問題については、幼児期・小中学校・地域の教育が必要である。 ・基本方針及び基本計画に「5R」と記載してあるが、宇城市はまだ「3R」も済んでいない状況なのに記載していいのか。 ・基本計画の「5Rの推進」とは、具体的にはどのように推進するのか。また、「食べきりの推進等食品ロスの削減に取り組みます。」で終わっているが、文章の構成を検討してほしい。 ・宇城クリーンセンターの今後の計画は見えていないのか。
	2 自然環境の保全と保全体制の強化	11	(委員) ・現状と課題で、野生動物については記載してあるが、外来植物でまだ繁殖しているものもあるので、そういう啓発も必要ではないか。 ・成果指標が記載していないが、何か指標はないのか。指標がなければ計画書に載せる必要があるのか。 ・プロジェクトの基本計画の「自然環境の保全と創出」の中で、「スパルテナ族を完全に駆除します」とあるが、外来植物を完全に駆除できるのか。また予算面の確保はできているのか。 ・基本計画の「保全体制の強化」の中の3行目「家庭教育学級」は現在でも実施されているのか確認してほしい。また、「学校教育現場では、小学校全学年で環境学習を行います。」とあるが、現在どのように実施しているか確認してほしい。
6 公害対策・環境衛生	1 快適な生活環境の構築		(委員) ・現状と課題では、公害や苦情として市役所内の関係課にわたる内容を記載してあるが、成果指標では何を基準（市全体か衛生環境課）とした苦情件数なのか。 ・成果指標で「地下水における塩素イオン濃度基準超過件数」が「0」となっているが、いつ発生するか分からないのであれば、指標は要らないのではないのか。
7 消費者生活対策	1 消費者生活対策の推進		(委員) ・成果指標で「市消費者生活センターに寄せられた相談件数」の目標値が増えているが、相談件数が増加するのは望ましいことなのか。指標を再検討してほしい。

IV. 健康福祉

施策部門	部門別プロジェクト	シ	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
1 健康増進	1 生涯を通じた健康管理	1	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針において、新型インフルエンザについては明記してあるが、肺炎球菌ワクチンの予防接種について明記しなくていいのか。 →肺炎球菌ワクチンは定期接種となっており、実施計画において他の定期接種と併せて策定する。 基本方針の予防接種については明記がより必要ではないか。 前回指摘があった、基本方針と基本計画において読み取りやすく修正されている。 前回指摘があった、成果指標「むし歯の本数」について現状と課題・基本方針・基本計画と繋がるように修正されている。
2 健康づくり	1 地域で取り組む健康づくりと食育	3	<ul style="list-style-type: none"> 前回指摘があった、プロジェクト名を市民に分かりやすいように修正。 前回指摘があった、【現状と課題】健康づくりと食育について、内容を分けて記載し、分かりやすく表現されている。 基本計画<1>食育・食生活改善は重要になってくるので、連携する団体について食生活改善推進員を明記したほうがいいのではないか。 →担当課において文章の校正を行う。 前回指摘があった、成果指標の特定健診受診率について、基本方針に明記し前後のつながりを持たせてる。 課題として、食育について「子どものころから食生活改善として生涯を通じて食の安全や食事についての配慮ができるような」などの子どもから成人までのニュアンスが1行加わるなら分かりやすくなると思う。
3 子育て支援・児童福祉	1 子育て家庭への支援の充実	5	<ul style="list-style-type: none"> 前回指摘があった、子どもの虐待防止についての明言化について修正が入っている。 成果指標②について、誤解を招きやすい表現となっているので、設定理由を簡潔に分かりやすくする必要がある。 成果指標①に代わる指標として、児童虐待の件数について検討。虐待件数は増えてきている現状がある。この指標とするならば、早期発見と重篤化防止について、虐待の早期発見の相談体制の充実と重篤になるケースを防ぐ旨を明言化（件数は増えてでも重篤化防止のための早期の情報収集と発見の為）する必要があると考える。潜在的な虐待を表面化して対応していくことを方針と計画に明記することにより分かりやすくする。早期発見・早期行動・早期解決することが重要であると考え。
	2 子育て環境の充実	7	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童について地域格差（三角は少ない・松橋は多い）があり、宇城市の方針として、この状況を一過性と取るか、今後も続くのかを加味して計画をたてる必要がある。 基本計画<2>保育環境の充実について、保育施設の事しかないで保育士の働きやすい環境の整備など、保育士のソフト面についての明記が必要と考える。
4 障がい者（児）福祉	1 障がい者（児）福祉サービスの充実	9	<ul style="list-style-type: none"> 現状と課題についてサービス利用達成率が明記してあるが、手帳の取得に抵抗のある障がい者もいる。誤解を招く表現であるので校正が必要と考える。 前回指摘があった、潜在的に隠れている障がい者に対する課題については、明記をされている。 成果指標の基準DATAはどこから持ってきたかを表記する。
	2 障がい者（児）にやさしいまちづくりの推進	11	<ul style="list-style-type: none"> 誤字について修正願う。 前回指摘があった、方針に対する計画を明記し修正を行っている。
5 高齢者福祉	1 高齢者の生きがいづくり支援・福祉サービス支援の充実	13	<ul style="list-style-type: none"> 前回指摘があった部分については修正・加筆してある。
6 社会福祉	1 社会福祉協議会事業の充実	15	<ul style="list-style-type: none"> 誤字について修正願う。表現については「ですます調」に校正を行う。
7 社会保障・生活保護	1 介護保険サービスの充実	17	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の単位を%に変更する。 設定理由について、「元氣老人を増やして」という一文を追加。
	2 国民健康保険事業の推進	19	<ul style="list-style-type: none"> 現状と課題が制度自体の現状と課題になっているので、宇城市の現状と課題を記載する必要があるのではないか。 課題について、「宇城市として健康な市民を育成し、保険給付の抑制に努めるような努力が必要です。」などの前向きな言葉が必要ではないか。 現状として、宇城市が保険給付をどれだけ支払っているかも見取れないので、基本計画とのつながりがなくなっている。 基本計画の順番を変更<3>→<1>、<1>→<2>、<2>→<3>
	3 後期高齢者医療保険事業の推進	21	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の指標説明を枠内に入るように表現する。 基準DATAを県平均値とする。 基本計画<1>上から3行目「広域連合と連携することで」を削除 基本計画の順番を変更<2>→<1>、<3>→<2>、<1>→<3> 基本方針、上から4行は現状と課題に記載されているので削除。

	4 自立支援体制の充実	23	<ul style="list-style-type: none"> ・適正運営の成果指標として、保護を受けていた人が自立して保護がなくなっただ人の割合などを成果指標とできないか。 →担当課で協議 ・適正な運営について、本当に必要な方に支援が入っており、必要でない方に対しては支援が入っていない事（不正支給が無い事）を伝えることができれば市民が納得できると考える。 ・現状と課題を「ですます調」に修正。
8 医療サービス	1 地域に根差した市民病院事業の維持	25	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題において、文末で「年々減少傾向となっている。」とあるが、「年々減少傾向とありますが、依然として入院患者…外来患者…の需要があり」等、市民病院の必要性を訴えていく必要があると考える。 ・専門機関と連携を図る中継医療機関（重症者となる方を専門医につなぐ役割を担う）としての役割を明記してはどうか。 ・現状と課題に不採算となっている旨と基本方針に黒字化を図るため記述を記入する。 ・基本計画について肉厚に記載をする。（関係医療機関に対する宇城市民病院の位置づけ等）

V. 産業経済

施策部門	部門別プロジェクト	シ	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
1 農業	1 農業経営担い手の確保と育成	1	(委員) ・現状と課題において、TPPという文言はこれでいいのか。今後、どうなるか分からないため、貿易の自由化など別の表現がいいのではないかと。 ・10年間で606戸も農家数が減っているが、減らさない対策を盛り込む必要があるのではないかと。 ・成果指標の中で、青年就農給付金の目標値が下がっているのなぜか。 ・成果指標の中で、新規経営者や認定農業者数とあるが、平均農家当たりの収入の増加を見た方が目標達成となるのではないかと。 ・農業の若手担い手が喫緊の課題である。農家でない子どもが農業に関心を持つなどの働きかけをプッシュすることも必要ではないかと。
	2 安心・安全な農産物づくりの推進	3	(委員) ・現状と課題において、「取扱い先の（売り先）の情報不足等により、安定した経営、事業計画が描けない状況」とあるが、もう少し詳しく説明して方がよいのではないかと。
	3 地域の特性に応じた農産物づくりと基盤の整備	5	(委員) ・現状と課題において、「農作業受託組織の育成を促進」とあるが、具体的にはどのようなことか。人材確保の受託は考えていないのか。 (回答)
2 林業	1 林業振興に向けた環境整備と森林保全などの基盤強化	7	
3 水産業	1 漁場の環境整備と「つくり育てる」漁業の推進	9	(委員) ・魚介類のPRができるように作り上げてはどうか。 ・漁獲高を上げるには、不知火海湾奥の整備（再生）が重要ではないかと。
	2 水産基盤の保全・整備と漁業経営の振興	11	(委員) ・漁業者の後継者問題の対策も、今後は考えていく必要があるのではないかと。
4 商工業・サービス業	1 商業機能の活性化とシステムづくり	13	(委員) ・豊野町では買物支援事業を実施しているが、宇城市においても買い物弱者が増えてきており、その救済対策はないかと。
	2 安定した経営基盤の確立	15	
	3 地場産業の振興と企業育成	17	
5 雇用対策・企業誘致	1 働く場の創出と企業立地の推進	19	(委員) ・市として、企業誘致のためにどのようなことをしようと考えているのか。また、毎年度、何社誘致しようかと計画しているか。 ・インターチェンジもあり条件はよいが、なぜ来ないか整理をする必要がある。
6 観光・物産	1 戦略的な観光推進	21	(委員) ・三角町には観光素材（西港・東港・戸馳島等）が揃っているが、来て帰るだけであり、滞在型観光が必要である。そこで、空き家を利用した対策を考えてほしい。 ・市内全域に観光地があるため、市全体をPRすべきである。

VI. 都市基盤

施策部門	部門別プロジェクト	シ	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
1 土地利用	1 特性に応じた有効的な土地利用の推進	1	(委員) ・特になし
	2 潤いと安らぎのある田園環境づくり(削除)	3	(委員) ・現状と課題において、「本市の人口及び世帯数については増加傾向にあり」と記載されているが、減少しているのではないが。(第1次総合計画をそのまま転記してあるのでは) ・担当部署が決まっていないため、次回会議で協議する。 (回答)
2 上水道	1 健全経営で安定した水供給	5	(委員) ・現状と課題において、環境部門では節水をうたっており、上水道部門では「料金収入の減少が危惧されています。」とある。これは、そぐわない表現ではないか。 ・基本方針の中で、「水道料金の適正化等」とあるが、現状の料金を下げられるのか。下げられないならば、本文は記載できないのではないか。
3 下水道	1 総合的な下水道環境の整備	7	(委員) ・宅地化が進み、既計画と現状にズレがあるため、整備計画をどのように考えているのか。
4 道路・交通網	1 快適な幹線道路ネットワーク網の整備	9	
	2 生活の利便性を確保する道路環境の整備	11	
5 都市整備	1 快適な都市環境の整備	13	(委員) ・成果指標がわかりにくく、適正な指標を示してほしい。次回の会議で再度協議する。 ・基本計画内の「交通ターミナル機能の充実」については、もう少し膨らませて表現してほしい。また、「JR各駅」は具体的に駅名(松橋駅・小川駅・三角駅等)を入れて表現した方が分かりやすいのではないか。
6 公園緑地	1 公園などの整備と緑化の推進	15	(委員) ・既存公園が災害により復旧する場合も、バリアフリー化を促進すると理解してよいのか。また、公園を全体的にバリアフリー化するのか。
7 住環境整備	1 快適な住環境の創出	17	
	2 住宅基盤の整備と都市機能の強化	19	(委員) ・目標値の根拠が分からないため、部局内で再度協議して、次回の会議で審議する。
8 地域公共交通	1 みんなが使いやすい公共交通網の整備	21	(委員) ・「乗合タクシー年間利用者数」は2地区で計上してあるが、長崎・小野部田地区もあわせてところで指標を設定すべきではないか。
	2 公共交通結節拠点の整備	23	(委員) ・現状と課題の3行目「駅の表側である東側」との表現は適切か。 ・現状と課題の5行目「鉄道利用者が減少したことで商店街が衰退化」との表現は適切か。 ・現状と課題の6行目「駅の東側と西側が行き来できない」とあるが、H28.10に駅構内は行き来できるようになったので表現を変えてはどうか。 ・松橋駅通りの商店街が地震により解体が進んでいるが、都市整備の面から連携して開発してはどうか。 ・成果指標で「松橋駅利用者数」の目標値は変わらないのか。

Ⅶ. 地域経営

施策部門	部門別プロジェクト	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
1 地域コミュニティ	1 コミュニティ活動支援による協働環境づくり	<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回は、地方創生の施策分野に移管していたが、意見を踏まえ、地域経営に掲げた。 ・ 成果指標⇒基準データが空欄。基準値は平成21年度前期基本計画時に調査した「地域における活動が活発なまち」の満足度とした。 ・ 現況値は、その後調査していないので空欄。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準値18%から目標値30%は高い目標であると思うが⇒地方創生の取組みにおいて、地域活性化に取り組んでいく。 ・ 満足度調査は、いつ、どのようにしてするのか⇒4年に1回。無作為抽出で実施する。
2 男女共同参画	1 男女共同参画によるまちづくり	<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標の変更 「市民意識調査の回収率」を「固定的性別役割分担意識に同感しない人の割合」へ変更した。 ・ 基本計画の変更 「市民意識調査の実施と男女共同参画計画の策定」を「女性リーダーの育成」へ変更した。 ・ 審議会における女性登用率30%は少ないのではとの意見 市のガイドラインや男女共同参画計画書にも示している。県の計画においても、市町村への目標値を30%にしてある。30%を目標値としたい。
3 広報・広聴	1 広報・広聴機能の充実と協働のまちづくり	<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標の変更 「広報特派員の人数」⇒削除 「ホームページアクセス数」の基準データの修正⇒県内同規模の自治体（玉名市、合志市）を基準とした。 <p>【基本計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追加文言⇒広聴広報機能の充実で、広報紙の満足度調査を実施し、市民のニーズを反映した紙面づくりに生かす。
4 財政運営	1 健全な財政運営の確立	なし
5 行財政改革	1 行財政改革の推進	<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標の基準値が抜けている⇒合併規模や施設数など他の自治体と比較しづらい。現況値と目標値を挙げている。 ・ 中身が寂しい。整理した方がよい⇒成果指標を見直した。「民間委託」と「公共施設の見直し」へ変更した。 ・ 部門別プロジェクトの「地方創生による税改革」⇒前回、事務の簡素化だけとの意見があり削除した。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6-1 公有財産管理と指標は逆ではないか。行財政改革の指標に金額が入り、公有財産管理に施設の民営化等の設置数が入るのがわかりやすい。
6 公有財産管理	1 公共施設等の総合的かつ計画的な管理・運営	<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の維持管理に必要な経費の2割削減について⇒5～10万人の自治体平均比較で宇城市は1.21倍。2割多い土地・建物を保有している。合理化対策を講じて2割削減する目標を掲げている。 ・ 学校施設跡地の機能強化については、現在、生涯学習施設として利活用しているところもあるが、利用頻度は少ない。方針を協議している。
7 組織づくり・職員育成	1 効果的な行政組織の確立	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在検討中 <p>【基本計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の自己変革と人材の育成に絞る。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モチベーションが課題の部分⇒どんなことをして上げるのか、(案)的なものはあるのか。 ・ 部門別プロジェクトは「効果的な行政組織の確立」となっているが、内容は職員個人の能力を高めることに主体が置いている。部や課の組織が流動的に動けるような組織作りの考え方も入れたらどうか。

施策部門	部門別プロジェクト	シ	前期基本計画に対する意見（第3回審議会 2017年1月17日）
8 行政 情報化	1 行政情報化の推進お よび情報セキュリ ティ対策の強化		<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標の追加⇒「情報セキュリティ研修受講者数」（追加したが、指標となるのか協議中） <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員が端末操作の際、認証を厳重にするとか行政サイドの取組みが指標になるのではないか。
9 統計 ・ 調査	1 役に立つ公共データ の発信		<p>【前回の意見に対する作業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータが指標（前回と同じ）⇒オープンデータの説明が不足していたので、注釈説明を入れた。情報統計課が持っている統計データを優先し、その後、他部局が持っているデータをオープン化していく。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役に立つオープンデータのイメージが一般の人にはわかりにくい。一般の人が使う場面が想像できない。 ・ 丁寧に説明していただく部分があれば市民に届くと思う。 ・ ICTとかわからないのでは、丁寧に説明する必要がある。
10 個人情 報管理	1 社会保障・税番号制 度の円滑な導入と推 進		<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準値と現況値が同じであるが偶然なのか。⇒全国の数値と市の数値が結果的に同じになった。 ・ 個人番号カードが現状で持つ意味がない。この数値が成果指標となるのか。 <p>【基本計画】</p> <p>〈1〉個人番号の適正な利用及び運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所が市職員に対しても、適正な取り扱い及び運用に取り組む、との表記があるがどういう意味か。 ・ 市内企業にも適正な管理を徹底するよう指導するとか、広い形で表現するのが市民にとっては分かりやすいのでは。
11 広域・ 産学官 連携	1 連携による生活機能 の向上と地域活性化		<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域観光客数で阿蘇を基準としているのは何故か。 ・ 将来推計人口減少率の基準値で、▲ポイントは何を表しているのか。⇒5年後の人口予測の減少率を7.8%から5%に抑える目標の設定。 ・ 書き方を変えないと市民にはわからない。